

こんにちは 森林官です!

根釧西部森林管理署
雄別森林事務所
森林官 前畑 慎一



中央が筆者

○管内概要

雄別森林事務所は、道東の釧路市阿寒町に所在し、約13千ヘクタールの国有林を管理しており、飽別森林事務所との合同森林事務所となっています。

「阿寒」といえば「阿寒湖」にあると思われる方が多くいらっしゃると思いますが、私が勤務している阿寒町は、釧路市と阿寒湖の中間に位置しています。最近では道東自動車道の阿寒ICが開通したことにより認知度も上がってきたと思います。

雄別地区の見所としては、昭和45年に閉山となった雄別炭鉱跡や日本国内で最後に発見された湖といわれている「シュンクシタカラ湖」があります。

シュンクシタカラ湖は、針葉樹と広葉樹が混交する鬱蒼とした森林に囲まれており、多様な野生鳥獣が生息し保護増殖を図るため鳥獣保護区として指定されています。また、水は周囲の山々より流れ込んでくるのに、流れ出す川

がなく、未だに全容が解明されていません。

湖には春から秋にかけて道内外から観光客の方々が訪れますが、アクセス道路の距離が長く、降雨などにより通行ができないこともあり、お越しの際は森林事務所までお問い合わせいただきますようお願いいたします。



シュンクシタカラ湖

○森林官の仕事

森林官の仕事は、担当区内の森林の現況や間伐など森林を整備するための調査業務、民有地との境界を点検する管理業務、植付・下刈などの森林育成にかかる請負事業の監督業務、国有林や林道のパトロール業務など多種多様な業務があるため、日々、現

場である山の中で仕事をしています。

今回は林道の管理業務について紹介します。林道は森林の整備・保全や林産物の供給等を行うための大切な施設ですが、林道の側溝等が落葉や土砂で詰まると、水が溢れ林道を痛めるため、スコップ等で側溝や管詰まり箇所の整備を行っています。



側溝の清掃作業

また、林道上に覆い被り、通行の支障となる枝等を高枝切鋸を使用して整備を行っています。

他にも林道上を水が流れたり、水溜まりができないように水切りをするなど簡易的な林道の維持

修繕を行い、安全に通行できる林道となるよう管理していきます。



通行の支障となる枝の切り落とし作業

○地域の窓口とつながり

秋を迎え、紅葉やキノコ狩り、釣り等で山に入る方が増える季節です。

入林の際は、気軽に森林事務所にご連絡いただければ林道の通行状況やクマやハチなど山に関する情報をお伝えできますのでお問い合わせください。

今後も地域の窓口、地域とのパイプ役の森林官として、少ない人員ではありますが、職員一丸となって国有林野の管理に努めていきます。